

日本腎不全看護学会会員の皆様へ

現在我が国において新型コロナウイルスの感染が拡大しています。医療現場に携わる皆様におかれましては疲弊と不安の中に置かれていることと思います。すでに院内感染からクラスターとなった医療施設、人員不足や医療物資の不足している医療施設などがみられ、医療崩壊が懸念されています。

このような状況においても私たちは透析患者に安心して透析療法が提供できるよう業務を遂行しなくてはなりません。まず、自分自身の身体と心の調整を行い業務にあたってください。そして、種々の対策を既に進めていると思いますが、再度確認し皆で油断せず取り組んで下さい。

自分自身の健康管理

- 出勤前の体温測定、症状の確認
- 職場を離れても手指衛生、マスク着用、咳エチケットを心掛ける。
- 外出は控え、3つの密（密閉・密集・密接）を避ける（参考①）

職場でのスタンダードプリコーション

- 飛沫感染と接触感染の予防策として患者にもマスク着用と手洗いの徹底
- 入室前の体温測定の徹底
- 透析室内でのベッド周り・手すり・ドアノブ・ロッカー室・トイレなど、頻回接触面のアルコール消毒
- 換気の励行
- タブレットやパソコンの消毒（参考②）

コロナウイルス感染者の透析を実施する場合

- 正しい防護具の着脱方法（参考③）を習得し、自己の感染予防にも気を付けて下さい。
- 可能であれば陰圧のかかった個室で透析を行うことが望ましいですが、設備がない場合は隔離透析を行い入室経路も別にする、それも難しければ他の患者と入室時間をずらすなどの対策が必要です。
- 使用物品は患者専用とし、終了後は患者の触れたものを全て消毒液に浸す、もしくは消毒薬で清拭します。最後は換気を十分行います。その他種々の留意事項があります。（参考④）

透析室でコロナウイルス感染者や疑いの患者に携わるにあたり、相談したいことがある場合は、透析看護認定看護師会でも相談を受け付けています。（参考⑤）

<参考>

- ① https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/pdf/fryer.pdf (日本看護協会：新型コロナウイルス感染症関連情報)
- ② http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/07_manual/doc/20150512_infection_guideline_ver4.pdf (日本透析医会：透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン (四訂版))
- ③ https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/index.html (日本看護協会：新型コロナウイルス感染症関連情報)
- ④ http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20200402_corona_virus_15.pdf (日本透析医会：新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第4報改訂版)～まん延期における透析施設での具体的な感染対策～)
- ⑤ <http://jdna.hkdo.jp/form.php> (透析看護認定看護師会：COVID-19対策委員会による相談窓口のご案内)

すでにいくつかの提案や情報が関連学会から発信されており、当HPでも2月末から紹介をしています(2/27, 4/3, 4/24)。

感染対策委員会でも今後、新しい情報を発信していきます。DLN委員会でも各施設の患者対応や感染対策状況などを共有できるように考えています。その際にはご協力をお願いします。

私たちが正しい知識を持ち、正しい行動をすることにより、感染対策につながります。

2020年4月25日

一般社団法人 日本腎不全看護学会
理事長 中原宣子
医療安全・感染対策委員長 井本千秋
DLN委員長 後藤浩也